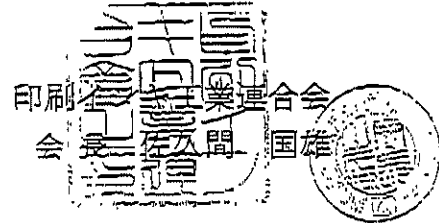


平成 23 年 3 月 22 日

社団法人日本印刷産業連合会

会長 猿渡 智殿



## 印刷インキの生産出荷に関する危機的状況について

東北地方太平洋沖地震によりプラント火災や製品倉庫の荷崩れ等が化学関係企業で多数発生し、印刷インキの主要原材料調達がたいへん厳しい状況に陥り、生産活動に多大な影響が出ております。加えて、重油・LPG等燃料不足が深刻な状況を呈しているほか、計画停電の実施に伴い生産体制の根本的な見直しを迫られるとともに、製品出荷においてもガソリン・軽油不足の状況が一段と顕在化し、お客様への納品の遅れや滞りなど不測の事態発生を否定できません。今後、インキ製品によりましては製品及び原料在庫が途切れる可能性があり、かつて経験したことのない業界環境の渦中にあるという、まさに“非常事態”であります。

とくに、オフセットインキ及び新聞インキの主要原料であるロジン変性フェノール樹脂をはじめとして、グラビアインキにおきましてはメチルエチルケトンや酸化チタン等諸資材の入手がたいへん困難な状況になりました。また、フレキソインキやスクリーンインキ等の各種インキについても同様であります。それら資材調達の環境がいつ改善されるのか、まったく見通しが立たないというのが実情です。

このような状況が継続されますと、製品出荷が止まることも考慮せざるを得ない危機的状況にあります。これまで印刷インキを供給してまいりましたインキメーカー各社は、この未曾有の難局を打開すべく様々な可能性を追求し、あらゆる角度から全力で立ち向かってはおりますが、今日、たいへん厳しい現実を突き付けられているというのが正直なところであります。

これら諸般の事情をご賢察のうえ、何卒、印刷物製作にあたっては特段のご配慮をいただきますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上